

フアザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

部門賞

“我が家の育児男子”部門

桑名市

まつ うら
松浦 さん

推薦者 妻

育児対象 子ども(2歳)



審査員共感ポイント

- 里親になることを考えている人にとって、勇気のもっともステキなご家族です！
- 夫婦で協力して、とても幸せでステキな育児をされている状況が伝わってきた！
- いろんな家族があるということを、広く知ってもらえる機会になれば、という前向きな思いが伝わってきました！

推薦文…

約半年間の交流期間を経て里子が我が家にやってきたのは昨年のこと。それまで夫婦二人でマイペースに過ごしていた生活が子ども中心の生活に変わりました。とは言っても、子どもと過ごす時間の新鮮さが子育ての大変さより勝り、楽しい生活ですが、

少し大変だったのは夫と子どもがかもしれません。交流期間の後半は私と過ごすことが多かったため、子どもが我が家で過ごし始めた時には子どもと夫の間に少し距離が。そして子育てを始めた私と夫の間にいくつか波風が立つことも。その度にどんなふうにするのか、何度も話をしました。そのかいがあってか、私と夫の間で波風が立つことも少なくなり、いつのまにか夫と子どもの距離も縮まりました。

休日は子どもと過ごすのは主に夫が担当。子どもとはしっかり体を使って遊んでくれています。特に子どもは夫の『高い高い』がお気に入り。私から見るとヒヤヒヤものですが、当の子どもはとっても楽しそう。

時には子育て支援センターや公園へ二人で出かけることも。子どもも楽しそうですが、出かける時に「少しはゆっくりしたら。」と私に声をかけてくれる気遣いも嬉しいです。また、私が少しイライラしている時には、そっと子どもを別室へ遊びに連れ出してくれ、私の気持ちが落ち着くのを助けてくれています。

当初は私に懐き夫と二人になると泣いていた子どもも、今ではすっかりパパのことが大好きになり二人で過ごすときも笑顔がでるように。おかげで私も心に余裕を持ちながら笑顔で育児ができています。

そして実は夫は子育てだけでなく料理以外の家事ならどんどこい。それはもうお手伝いレベルではなく、私も脱帽してしまう腕前。気が付いた方が家事をやれば良いという考えの夫にずいぶん助けられています。

ご縁があって子育てをするようになりましたが、父親が家事・育児に参加することで母親にも余裕が生まれ、家族で子育てを楽しむことができるのだなど実感しています。我が家の育児男子に感謝！

フアザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

部門賞

“我が家の育児男子”部門

もり ひろ き
津市 森 宏記 さん

推薦者 森 由佳さん(妻)

育児対象 子ども(0歳)



推薦文…

オリジナルソング♪これがうちのパパの育児法。赤ちゃんの時なかなか寝ない息子にパパの作った子守唄で、パパの歌声で眠ってほしい、そうすればママもゆっくり眠れるから。そんなパパの優しさから生まれた1曲がきっかけでした。今ではおむつ替えの歌、お風呂の歌、お散歩の歌…。仕事で忙しくママに比べて接することの少ないパパが、パパでもご機嫌になってほしい、歌で生活リズムを覚えてほしいと作った歌がたくさん。その中でも最近の息子のお気に入り、まんまの歌♪

「(歌詞) パクパクゆうくん、おくちあーんして ぼくはもぐもぐ、パクパクゆうくん、パパももぐもぐママももぐもぐ、みんなでもぐもぐあーおいちい♪」

この歌を歌いながら食べる出勤前のパパとの離乳食の時間は楽しいひと時。昼間の育児はママ担当。育児で家事ができず、散らかった部屋に帰宅しても、「今日はたくさん遊べた証だね。あとはやっておくから一緒に寝てあげて。」夕食が作れず、お惣菜を並べても、「一緒にお散歩して買ってきてくれてありがとう」と言ってくれるパパだから、今日も息子と全力で向き合えて楽しかったと思えます。

パパはいつも「ママはおっぱいがあるといいね。赤ちゃんはママのほうが好きなんだね」って言うけれど、パパの大きな腕に抱かれた寝顔は、安心しているよ。だから世界に1つだけのパパの歌とともに、この子を大きくしたい。次のパパのお休みは3人で動物園に行こう！お出かけの歌を口ずさみながら…。

審査員共感ポイント

- 育児する中で見出したオリジナルソング。とても素晴らしい発想だと審査員全員が共感！ぜひ歌声を聞きたい！
- きっとこのご家庭で育ったお子さんはクラスで人気者になるんだらうな。
- 部屋を散らかされても「たくさん遊べたね」と誉められる広い心にも感動！

